



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No.8

平成29年 7月24日発行 発行責任者 校長 野口 泰秀

1学期を終えて

校長 野口 泰秀

4月6日に6名の新生を迎えて始まった平成29年度の1学期は、本日で終了となります。子どもたちに大きなけがや病気もなく元気に登校し、楽しい学校生活を送ることができたのは何よりもよかったと思っています。

さて、1学期の始業式で、子どもたちに次のような3つのお話しをしました。

- ①お話しをしっかりと聞く子どもでいてほしい。
- ②気持ちの良いあいさつと優しい言葉づかいのできる子どもでいてほしい。
- ③命を大切にすることを子どもでいてほしい。

担任の先生が研修でいなかったとき、1年生に勉強を教える機会がありました。「お話しを聞くときは、体のどこをつかいますか？」と質問すると、「耳」「目」「心」と返ってきました。下校時に校長室のドアが開いていると、「さようなら。」と気持ちよく言葉をかけてくれる子どもたちがいました。休日にヘルメットをかぶって自転車に乗っている子を見ました。様々な場面で1学期にお話ししたことが意識されていることを実感するとともに、とても感心しました。また、1学期は、日常の教科の学習はもちろんのこと、運動会、遠足、宿泊学習などで、子どもたちは、たくさんのお話を学びました。それは、しっかりと考えながら学習する姿、根気強く目標達成に向かってがんばっている姿、協力し合って仕事をしている姿などから見て取れました。特に5・6年生は、運動会や全校行事で、リーダーシップを発揮することができていました。また、宿泊学習では、西春別を離れて先生や友達と一緒に生活する中で、自分を磨き、相手を思いやる気持ちを育む良い機会となったと感じています。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。学習の計画をたて、家の手伝い、地域行事への参加等々、家庭や地域で様々なことを「体験」してほしいと思います。この夏休みを有意義に活用して、ひとまわりもふたまわりも大きくなって、2学期を迎えることを期待します。

保護者や地域の皆様には、子どもたちの学習環境の整備や学校行事など様々な面でご協力をいただきました。今学期の教育活動が順調に進んだことは、皆様のご理解とご協力があったことと深く感謝申し上げます。



明日から夏休みです。(7月25日～8月17日)

子どもたちは、学校生活からはなれ、家族の援助のもとで自分の計画に基づいて生活します。学年の発達に応じて、生活時間を自分で管理し、自主的な生活ができるようにするよい機会です。また、命と健康を大切にしてお過ごしするために、事故防止の声かけや体調管理をしていくことが大切です。

(1) 早寝・早起き・朝ご飯を基本に！

生活時間は、学校がある日と大きく変わらない方が良いでしょう。特に、夜更かしや朝食抜きは、体調を管理する上では悪い影響があります。早起きして朝ご飯をしっかりと食べて心も体も健康にして一日一日を有意義に過ごすようにしてもらいたいです。

(2) 安全な生活を！

夏場の観光シーズンに入っていて、交通量が多くなっています。プールなど自転車で出かけるときは、事故に絶対にあわないように安全確認をすることや交通ルールをしっかりと守ることが大切です。また、ヒグマの出没情報も出てきています。鈴などをつけることや、山や川沿いには近寄らないなどの安全対策が大切です。ヒグマ出没の情報が入ったら、子どもだけでの外出はひかえるようにしてください。

(3) 夏休みでなければできないことを！

24日間の夏休みですから、時間がたくさんあります。学習では、じっくりと考えたり、納得のいく作品作りに取り組んだりすることができます。身の回りの自然の中で興味をもったことを継続的に観察することもできます。

子どもたちにとって思い出に残る夏休みになるよう願っています。